

スローイングビンゴの紹介



スローイングビンゴとは、平成 10 年に栗東市の体育指導委員さんによって考案されたニュースポーツで、その名のとおり、投げて楽しむビンゴです。

的となるシートの大きさは 5 m 四方で、この中が 25 マスの方眼になっています。この方眼的的に向かって砂の入った「サンド・レット」という、てるてる坊主のような袋を投げ、縦、横、斜めのいずれかに 5 つ並べるゲームで、子どもから高齢者まで、室内外を問わず気軽にできるスポーツです。通常は 3 人対 3 人で行います。

ルールもいたって簡単。まず、先行チームがビュットという目標物を 8 m 離れたスローイングサークルからコートに投げ入れます。続いて、サンドレットを先攻・後攻の順に 1 回ずつ交互に投げていきます。これを繰り返して、縦、横、斜めのいずれかに 5 つ並んだら(ビンゴ)10 点入り、その時点でそのセットは終了します。ビンゴの列の中に最初に投げたビュットが含まれている場合は、ボーナスポイントとして 5 点が追加されます。なお、両チーム 12 個あるサンドレットを全て投げ終わってもビンゴが成立しない場合は、4 つ並んでいる状態(リーチ)があれば、リーチ 1 列につき 3 点が与えられます。

サンドレットは袋状で口をひもで縛ってあるので、投げ方や着地の仕方で転がり方も変わり、偶発的な楽しさも味わえます。また、仲間と協力しながらビンゴができたときの達成感も魅力の一つ。